

みんなのまち



自主防災組織で 安全・安心なまちづくり

近年、全国各地で発生している地震、台風、豪雨などの災害をきっかけに「安全で安心な暮らしの大切さ」があらためて認識され、地域の防災に対する関心が高まっています。

阪神・淡路大震災や中越地震では、生き埋めにあたり建物等に閉じ込められた多くの方が自力または家族や隣人によって救助されています。

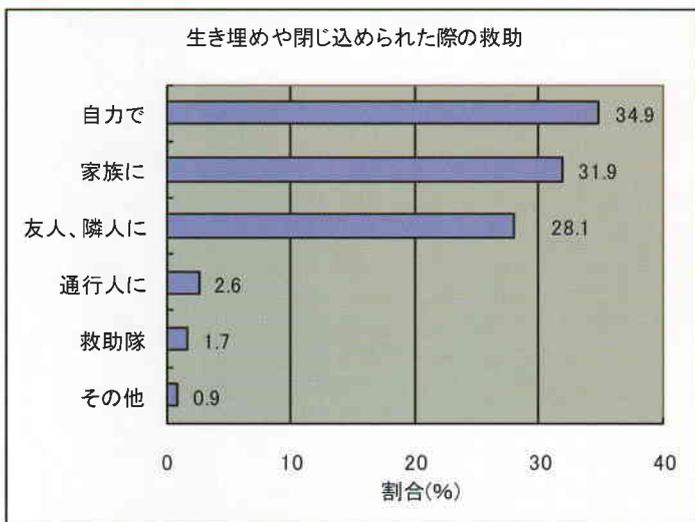
大規模な災害が発生した直後は、防災機関による対応が困難なため、地域住民が互いに助け合い、人命救助や消火にあたることで被害をより少なくすることにつながります。

阪神・淡路大震災で住民による救助・救護活動

このグラフは、(社)日本火災学会がアンケート調査した結果です。

阪神・淡路大震災における負傷者の中で、生き埋めになったり建物や家具に閉じ込められた方の割合は、66.0%にもなりました。

その救助にあたっては、自力で脱出した方が34.9%、家族に助けられた方が31.9%、友人・隣人に救助してもらった方が28.1%でした。



自主防災組織の役割と活動

自主防災組織とは、住民一人ひとりが「自分の命は自分で守る」そして、「自分たちのまちは自分たちで守る」という考え方にたって、自主的に防災活動を行う組織のことを言います。

町内会などの地域活動の組織を生かして結成されています。

日ごろは

- 正しい防災知識や応急手当を学ぶ
- 地域を回って危険な箇所を点検したり、避難場所等を確認する
- 避難訓練や消火訓練
- 地域に必要な防災機材等の整備



いざというときは

- 救援情報の伝達
- 消火器等による初期消火活動
- 安否の確認や高齢者や障がい者、子ども等への援助
- 負傷者などの救出・救助
- 炊出しや給水作業



自主防災組織をつくるには

自主防災組織は、地域の住民のみなさんが組織結成に合意していただければ成立します。

防災活動を行うためには、市や消防機関との連携が必要ですので、市総務課防災係まで、組織の結成をお知らせください。

- ① 市総務課防災係に相談しましょう
 - ・防災に関する出前講座で町内会に説明
 - ・組織結成をサポート
- ② 町内会などで話し合い進めましょう
 - ・組織結成の合意を得ます
 - ・組織の名前を決めます
- ③ 自主防災組織が結成されました。
 - ・市総務課防災係へ簡単な届出をします
- ④ 自主防災組織で話し合いをしましょう
 - ・役員を決めましょう
 - ・活動内容を決めましょう



でも町内の現状は？

「組織は必要だと思いますが、いざ作ろうとすると難しいのですが。」

町内のご意見 役員のなり手がいない。訓練をするのが難しい。
規約を作るのが難しい。町内に高齢者しかいない。
作ると面倒など。

いろいろな意見があり、なかなか結成まで進んでいきません。



こんな方法もあります。

- ・ 組織体制・役員は町内会と同じにする。
- ・ 最初から訓練などの無理な活動をしなない。
- ・ 必ずしも規約は必要ありません。
- ・ 高齢者でもできる活動をする。(連絡網を作る、防災ビデオを見るなど)
- ・ 防災について知ることも活動の一つ。
…総会等で防災の資料を配布したり話を聞く。
- ・ 活動や訓練に困ったら、気軽に市総務課防災係へ相談。



まずは、できることから始めてみませんか？



例えば

- 非常時の連絡網を作りましょう！
…既存の町内の連絡網を利用する。(年1回程度訓練してみる)
- 高齢者や体の不自由な方の避難等の手助けをする人を決めておく など

地域・町内の実情に合った活動を！

自主防災組織の活動の様子

要援護者をリヤカーで避難訓練



炊き出し訓練



防災資機材の整備



救急法講習会



消火訓練



その他の活動例

- ・活動計画の作成
- ・連絡網の整備
- ・要援護者の安否確認
- ・町内の安全点検
- ・防災講演会への参加
- ・備蓄資材の点検

「防災組織づくり支援事業」で充実した活動を！



防災組織づくりを支援するための事業です。この事業を使って防災資機材（ヘルメットなど）を購入できます。

対象経費

- 防災資機材の購入費用（消火器、ヘルメット、発電機など）
- 防災意識の啓発・向上のための研修会費用
- 地域の防災マップ・連絡体制づくりのための費用など

その他、防災上必要なもの

対象組織…地域活動として自主的な防災活動を行う町内会及び集落など

補助金額…別に定めた金額

問合せ

五泉市総務課防災係

電話 43-3911

（内線：333・334）

市ホームページ <http://www.city.gosen.lg.jp>